

令和4年度（第2回）京都府国民健康保険運営協議会の議事概要

令和5年1月30日（月）
午後2時00分～3時15分
ルビノ京都堀川「平安の間」

出席委員（被保険者代表）
宇野委員、尾松委員、尾崎委員、鎌田委員
（保険医・保険薬剤師代表）
内田委員
（公益代表）
井上委員（会長）、荻野委員
（被用者保険等保険者代表）
守殿委員、中島委員

1 開会

2 あいさつ

神田健康福祉部副部長から開会の挨拶

- 配付資料の確認
- 定足数の確認
- 会議録署名委員の指名
会長が会議録署名委員2名に被保険者代表の鎌田委員及び被用者保険等保険者代表の守殿委員を指名

3 令和5年度国民健康保険事業の取組について

事務局から資料1・2により説明

<質疑応答>

委員 納付金の激変緩和措置として、府特例基金が活用されているが、どれくらい保有しているのか。

事務局 府特例基金は平成30年度の都道府県単位化の際に国から交付されたものである。令和5年度までの時限措置とされていることから、来年度の納付金算定において府特例基金の残額を活用するものである。

委員 資料3で被保険者数が平成27年度約64万人、令和5年度約48万人と減少している。社会保険適用拡大により、ますます被保険者数の減少が見込まれるが、

被保険者の減少が国保の財政運営にどのような影響を与えるかを教えてほしい。

事務局 被保険者数の減少や医療費の動向等を踏まえ、一定のシミュレーションをしている。被保険者数が減ると、市町村単位では個別に影響が出てくることはあると思うが、府全体でどうするかを考えていく必要がある。

委員 将来的な保険料水準の統一の予定や考え方についてはどのような状況か。

事務局 府内市町村によって事情や状況も異なるため、市町村の意見を伺いながら、調整してまいりたい。

4 令和4年度国民健康保険事業等の実施状況について

事務局から資料3・4により説明

<質疑応答>

委員 指標の共通⑥の後発医薬品の促進の取組・使用割合が、全国平均と比べて低いが、府ではどのような事情があるか分析していたら教えてほしい。

事務局 前々回の運営協議会でも同じ御意見があったが、国目標の使用割合80%をクリアすると大きな点数を獲得できるが、府では下回っている。製造会社の不祥事やGMP違反もあり、供給不足もあると伺っている。

5 ヘルス博 KYOTO 2022 について

事務局から資料5により説明

委員 私どもも参加させていただいたところ、久々の対面ということもあって、いろいろな関係者と情報共有でき、担当者も喜んでいたところ。市町村の健康部署担当者とも情報交換できた点もよかったと聞いている。次回は国保のブース出展も検討いただきたい。

事務局 御出席いただき、感謝申し上げます。引き続きよろしくお願ひしたい。

6 令和5年度京都府当初予算案主要事項について

事務局から資料6により説明

委員 個々の事業の重要性は理解するが、国保運営にどのような財政的な課題があって、その課題をどのように認識し、どのような目標を掲げて、対応していくのか。また、保険者努力支援交付金の獲得状況でも全国順位は40位台と低迷しており、どのような手を打っていくことがよいのか。保険料の収納率を良くす

ることもひとつと思うが、国保財政を安定化させていくための目標の具体化が必要ではないか。

事務局

平成 30 年度に国保財政の運営が都道府県単位化され、法令に基づき運営してきたところであるが、新型コロナウイルス感染症などは予見することが難しく、また、小規模な保険者では高額な医療費が発生すると財政的に厳しくなることもある。

保険料の収納率については、全国的に見ても上位に位置している。

保険者努力支援制度については、国の予算枠があるため結果的に各都道府県で取り合いになる面はあるが、取りこぼしがないように市町村を支援してまいりたい。

委員

被用者保険でも新型コロナウイルス感染症の影響はあるので、個別の事情も府の立場も理解はするが、もともとの国保財政の運営の都道府県単位化の目的を踏まえて、国保財政を管理する者としての課題を掲げた方が良いと考える。

委員

特定健診の受診率が向上することはなかなか難しいと考えている。高齢者の場合、何かしらの疾患を持ってかかりつけ医で診てもらっていると、特定健診は項目が重複しているのでは、受けないことが多い。また、平日は働いている若い人はなかなか受診できない。

乳幼児のいる母親は子どもを預けて受診できる機会がないので、例えば乳幼児健診の際にママさん健診として一緒に実施してはどうか。

事務局

どの市町村も受診率向上に苦慮しながら実施している。府では市町村の取組を共有する場を設置しており、いただいた意見を市町村と共有し、一緒に考えていきたい。

7 閉会

森川医療保険政策課長から閉会の挨拶

(以上)